

冠句の部			川柳の部			俳句の部			短歌の部		
梅の春 ほのぼのゆるり深呼吸	揃う卓 愛を包んで年開く	歴史あり 遺構にロマン湧く古城	お下がりの派手なジャンパー父が着る 近江富士	散歩道マスクはずして深呼吸	ゆるゆるとほどけていきますキミと春	寒月や肩を寄せ合う影二つ	ストローを駆け上る恋ソーダ水	門前の蕎麦屋の側を花筏	梅花藻が揺れる醒井祖父の里今も優しさ抱く川面に	朝光に川辺の木の芽ふくらみて流るる水のゆるやかな音 近江富士	断捨離の車見送りほろほろと思ひ出こぼれ掃除機かけぬ 高木
上屋	高木	小南	近江富士	小南	辻町	三上	南櫻	西河原	守山市	近江富士	高木
日比野 美鈴	朝人	泉 歌子	中村 城啓	脇坂 洋子	おれんじ	櫻木 博子	南井 新	中山 博	小島 京子	林 くみ子	都人

令和五年度文学の散歩道 入選作品

「文学の散歩道事業」は令和五年度（令和六年三月）をもって作品募集を終了しました。
これまで多くのご応募ありがとうございました。